

“Laboro Kaj Emancipo” Eldonas: Grupo “Laboro Kaj Emancipo” Ce Y. TAKASHIMA 4-39, Nadakitadori, Nadaku KOBE, Japanio

Laboro kaj Emancipo 労働と解放

発行所 労働と解放社 神戸市灘区灘北通四ノ三九(高島)方 発行者 平 沢 貞 太 郎 編集者 高 島 洋 定 価 20 円

反戦活動を通じて労働者を結集

各地における労働者組織の現状

本紙前号においてアップリルした労働者組織(反戦労働解放同盟)の結成の問題については、その一部労働者から、組織方法について既成労働者の如き中央集権的組織方法に陥る危険を警戒すべきであるとの意見が出された。当社においては、この件について各地労働委員と連絡協議の結果、すゞさま全国組織の形態にすることを避け、当面は各地において、その地域の事情に即した創造的な組織方法によって進めることが諒解された。

その後東京地区においては五月一日のメーデーに際し、新労組結成の趣旨を説いたヒラ投入を行ったが、未だ各地で研究会を積み重ねる程度であり組織結成には至っていない。関西地区(主として阪神地区)においては同地域の事情から反戦活動を通じて労働者の結集をはかるべく、五月三日尼崎市労働会館において関西反戦労働者連合を結成した。たまたま東京学者が

六月行動を省りみて

5月18日夜、大阪駅前集合への加入と、6月15日早朝、軍需生産阻止、日本油脂工場へのデモについての印象をまとめたとい考えますが、どうにも「この」が並べません。「6月行動」の重要さは、ボクらにとってはアナキスト部隊が大量のデモを行った、ということにあると思えます。それは、ある面ではアナキスト

路傍のベトナム

サンドイッチマン

高島 洋

ビエロの化粧を濃くぬぐり、キャバレーの広告を高くかかげわたしは歩く。わたしは歩かないサンドイッチマン。面映ゆい気持はとくに捨ててあわれみやさげすみの視線も眼中にない。道化者らしく、悪びれずに歩く。けれど心の片すみに、やはりしりとりに残っていた。おどろとした気おくれ。ああ、ビエロの化粧をなせ濃くぬぐる。今日はキャバレーの広告をかなり捨て、ベトナム反戦のセツケンを胸に背に

三重の斗い

ひとりの神戸元町の雑踏のなかを歩く。むろん化粧をなしてはいない。行き交う人々、シヨウウィンドをのぞく人々が一せいにわたしの顔を見る。なかには歩いてくるわたしを超越して、わさわさをのぞきこむ奴もいる。素顔をさらして歩きながら、だが、わたしの心は、すばらしく落着いていて、やがて師走の。もりの上を群衆のなかと入ってゆく。

がっちりスクラムくんで走りこんだ。ナバームの製造を止めよう。兵器の生産を阻止しよう。口々に叫ぶ若者たち。すでに偵知していたらしい制私服の警官隊が待機して。じわじわまわりをとりまいてくる。頭張れよ、走り込み。群衆のなかから、はからずも激励の声がとぶ。だが、どうしたのか。工場の中から「斗争委員」と赤字の腕章をまいた労働者の役員が出てきて。従業員を工場させよう。走りこみの若者たちと押合いをはじめたのだ。私服が数名こんできて。止める、止めると若者たちにはなる。前後の敵と対しながら。その時、若者たちの胸のなかに、はげしい自己闘いがうづまいていた。

青年アナキスト討論集会への招請

〈テーマ〉 いかにか国家をすてるか、あるいは永久にすくわれない革命(革命者)について仮題。とき 10月5日(土)~6日・ところ 名古屋市内。参加(7月末確認) 関西アナキスト学生連合(現代国家論を疑う)・名古屋アナキスト学生連合(70年をいかに闘うか、現状分析)・関西反戦労働者連合(日本アナキズム運動史)・アナキスト行動戦線(未定)・その他の個人。※大阪、名古屋、東京を中心とした青年アナキストの合同討論会、研究会の企画です。参加、発言は全く自由、詳細は今後の実行委で検討します。事務局・大阪市東住吉区桑津町6丁目90山口方因幡気付

青年アナキスト討論集会実行委員会

ええ。ひとりが、権力にむかって憎しみの石を投げつけるには、10人の石をばらばら、つくる人々が必要だ。というのは現実的な要請であるが、故に、生活者と24時間反抗者をつなぐ思想的ベルトが、つねに緊要であるのだと思えます。(逆説めくけれど……)

アナキスト行動戦線への華麗なる招待状

アナキズムが現代において一定の問題提示としての有効性をもっているかどうか、その間を我々自らに発するが故に「アナキスト行動戦線」を結成した。我々が「アナキスト行動戦線」を結成したのが「関西反戦労働者連合」は事実上瓦解した。「反戦労働」の「軍需工場生産阻止」斗争の提起は現在、なお一定の思想性と行動性を持っています。しかしながら6・15日本油脂への抗争斗争を一部の若者は当日斗争を放棄した。を契機に、それ以後日和見主義の悪しき心情へ対立は避けられ、前述を含めて「反戦労働」は事実上瓦解の渦

反戦運動と組織的矛盾

現場の状況に対する判断から、用意した火花を燃し切らなかつたことで、気の冷めたくなった四帖半読書の愚かな眼をたのしませる。三記事をつくれなかつたこと(心をこめて)残念でなりません。6月行動に関しては、被逮捕者と行動の合一した組織たる事を、労働と解放同盟の連帯行為を感謝します。あるいは、負傷者に対する、労働と解放同盟の連帯行為を感謝します。一定の行動性を探究しつつ、誰の言葉でなく我々自身の言葉で組織を創造しなければならぬ。一方が欠如した組織は、虚構にすぎない。「アナキスト行動戦線」は呼びかけます。思索し行動する真の前衛の参画を。反権力斗争を直接行動主義で、帝国主義の象徴たる軍需工場への攻撃。「アナキスト行動戦線」(アナキスト行動戦線)は、その成立を可能にさせた条件によって、発展の方向と可能性を予め規制されていると言えらるかも知れない。たとえば、反戦市民団体として最も広汎な層の支持を集めている、ベ平連について言うならば、彼らの運動が現在の日本における中産階級の平均意見を積極的に集約することに、かなりの程度成功しているにしても、正にそのことによって彼らは自らの力を設けざるを得ない。中産市民階級の反戦感情は、またまた戦争に対する被害意識というものの域を脱せず。多分に主観的言方だ。また、自らの存在基盤が日本資本主義の下に成り立っている事実(これはまぎれもなく有害な状況である)から、彼らはその基盤を根本から揺がさなければならぬ。その結果、ベ平連の運動はもっぱら人道主義を前面に押し出すざるを得なくなり、それは同じような傾向の思想を持ち、一つの組織に結集して行動しようとする意志が、集団の成員に共通していたとしても、その過程で様々な錯覚が入りこむことは免れ得ず、行動に際して対応できる組織としての能力を、初めから期待することは無理である。成立過程においてかえこんだ錯覚と誤認とが、実際行動の上に具現されて来るからだ。それだから全ての組織

はその文化的アナキストたる事を拒否して、思想の為の思想人たる事を拒絶する。他のアナキスト組織が市民主義者とのユ着を深めつつある今、我々は真の前衛たる人々との連帯を欲し行動し組織する。「アナキスト行動戦線」は思想と行動の合一した組織たる事を、労働と解放同盟の連帯行為を感謝します。一定の行動性を探究しつつ、誰の言葉でなく我々自身の言葉で組織を創造しなければならぬ。一方が欠如した組織は、虚構にすぎない。「アナキスト行動戦線」は呼びかけます。思索し行動する真の前衛の参画を。反権力斗争を直接行動主義で、帝国主義の象徴たる軍需工場への攻撃。「アナキスト行動戦線」(アナキスト行動戦線)は、その成立を可能にさせた条件によって、発展の方向と可能性を予め規制されていると言えらるかも知れない。たとえば、反戦市民団体として最も広汎な層の支持を集めている、ベ平連について言うならば、彼らの運動が現在の日本における中産階級の平均意見を積極的に集約することに、かなりの程度成功しているにしても、正にそのことによって彼らは自らの力を設けざるを得ない。中産市民階級の反戦感情は、またまた戦争に対する被害意識というものの域を脱せず。多分に主観的言方だ。また、自らの存在基盤が日本資本主義の下に成り立っている事実(これはまぎれもなく有害な状況である)から、彼らはその基盤を根本から揺がさなければならぬ。その結果、ベ平連の運動はもっぱら人道主義を前面に押し出すざるを得なくなり、それは同じような傾向の思想を持ち、一つの組織に結集して行動しようとする意志が、集団の成員に共通していたとしても、その過程で様々な錯覚が入りこむことは免れ得ず、行動に際して対応できる組織としての能力を、初めから期待することは無理である。成立過程においてかえこんだ錯覚と誤認とが、実際行動の上に具現されて来るからだ。それだから全ての組織

